

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

鈴木 けいすけ

自民党を変え、政治を変える突破力。

改革、断行。



自民党公認
鈴木 けいすけ
37歳

三十年前ビジネスやマネーは、黙っていても世界から日本にやってきました。しかし、もはやかつてのような圧倒的な経済大国日本ではありません。厳しい国際競争の中で、適切な戦略と政策がなければ、ビジネスもマネーも日本にやってくるはずありません。政治は本来のための戦略を打ち出さねばならない。しかし、残念ながら、政治は旧い政治から脱却しきれずにいます。しかも、既得権に縛られ、結果として、毎日額に汗して苦勞されている圧倒的に多くの方々の声なき声の方を向くことができていない。自民党もまた変わらねばなりません。安倍政権がスタートして二年、TPP、法人税減税、規制改革、農政改革、医療改革、旧い政治勢力からの抵抗があらわながらも、それなりに改革を進めてくることができました。それは多くの方々の皆から改革を進める安倍政権の姿勢に支持をいただいたからです。しかし、まだまだ改革の道は始まったばかりです。まだ弱気な回復の流れをしっかりとしたものとするためにも、改革の流れを止めるわけにはいきません。是非お力をお貸しください。

プロフィール
●サラリーマン家庭の長男として昭和52年2月生まれ
●目黒区立不動小、開成中・高、東大法(在学中はポート部で活躍、アメフトも経験)卒業後、大蔵省、福岡国税局、在NY副領事等を経て、衆議院議員(二期)
●衆議院議院運営委員会・外務委員会各理事、自民党総務会総務、財務金融・外交・環境各部会長代理等を歴任。

政府の焼け太り、利権政治と断固闘う。「小さな政府」へ。

●不要な道路工事などの公共事業や生活保護問題に代表される「大きな政府」、既得権を守る政治と訣別。また二重行政を撤廃し、議員・公務員数も削減。
●将来の大増税阻止のため、無駄な歳出削減を徹底、社会保障等でも優先順位を明確化。適切なタイミングでの最小限の消費税率引上げにより金利負担を最小化。

「子育て」「人づくり」こそ国の礎。頑張る人が主役の「やればできる」日本。

●公教育の充実やグローバル人材の育成、待機児童対策などの子育て支援など、将来への投資を優先。
●再チャレンジしやすいベンチャー支援、よりフレキシブルな労働市場への改革などにより、「頑張らない人に優しい」社会でなく「頑張る人が報われる」社会へ。

「事なかれ」でない戦略的外交で国益を守る。

●日米同盟を軸にオーストラリア、台湾、ベトナム等とも連携し、中国や北朝鮮の国際秩序への挑発に対抗。
●集团的自衛権の限定的行使を速やかに容認。日米同盟を強化し、国際社会からの孤立を防ぐ。

パラマキなしで景気回復。構造改革・国際競争力強化で日本復活。

●官主導の旧来型の公共事業中心の経済対策から、減税や規制緩和を中心とする真に民間活力主導の成長戦略への転換。
●日本の競争力をフル活用するために、TPP等の枠組みを活用し、中国に主導させない形で知的財産権などの国際ルールづくりに積極関与。



◇中谷一馬プロフィール(経歴)

- ・1983年生(31歳)、母子家庭にて育つ
- ・地元・日吉中学校を経て、横浜平沼高校を卒業
- ・呉竹鍼灸整骨専門学校にて柔道整復師の資格を取得
- ・「企業(株)gumiの創業メンバー(東証上場予定)
- ・社会人として働きながら、慶應義塾大学 経済学部 通信課程へ進学
～ 社会を変革する必要性を感じ、政治の世界へ～
- ・第94代内閣総理大臣 秘書
- ・神奈川県政史上最年少県議会議員に当選(2011年、当時27歳)
- ・ダボス会議のGlobal Shapers 2011 日本代表(U-33)に選出(地方議員史上初)
- ・第7回マニフェスト大賞 最優秀政策提言賞を受賞(2012年)
- ・民主党本部青年委員会 副委員長(地方議員初最年少本部役員)に就任(2013年)
- ・民主党神奈川第7区(港北区・都筑区) 総支部長として、地元で全力活動中。(2014年)

kazuma.nakatani kazuma_nakatani
<http://kazumanakatani.com/>

“生きる人すべてが幸せである”

夢物語のような世界を私達みんなの力で創っていくことが、政治家としての野望であり目標です。これまでの様々な経験を糧に、国民の皆さんに、常に新しい価値を提供し続ける「新世代の政治家」を目指します。

- 経済・産業・雇用**
将来世代にツケを回す経済政策は許さない。「継続的な成長」と「安定的な雇用」の確立と、「持続可能な社会保障」との両立を目指します。
- 行財政・国のかたち**
身を切る改革を恐れずに、「政治・行政の見える化」の徹底を図りクリーンな政治を実現。「成果指標」を用いて「行政の無駄遣いを全廃！」
- 出産・育児・教育**
子育て世代の代表として、「出産・子育ての負担軽減」を実現。語学教育・キャリア教育など「世界で活躍出来る人材の育成」を目指します。
- 医療・福祉・年金**
ICTの活用により「救急車のたらい回しゼロ」を目指し「医療提供体制全体の安定化」を実現します。「国民皆年金を堅持」できる制度改革を行います。
- 行政の情報(IT)革命**
「行政事業のIT化」を進め、手間とコストを削減します。徹底的に行政事業を効率化し、住民と行政の距離を縮める「ガバメント2.0」を推進します。
- 防災・環境・エネルギー**
数回被災地入りをした経験から、「再生可能エネルギーの推進」や「産業構造の転換」により、「原発ゼロ社会」を2030年代に実現します。
- 外交・防衛・治安**
国民の暮らしと生活を守る為に、我が国の主権を守ります。「立憲主義」のもとで自衛権行使の在り方を明確化し、「未来志向の憲法」の在り方を構想します。

責任世代が国政を変える！
31歳、今を変え、より良い未来を創る為、覚悟の挑戦。
貧困世代の子どものために、介護に悩む家族のために、真の福祉改革を実行します。
実は、私も、貧困な母子家庭に生まれ、生活保護を受けて日吉中学を卒業しました。
働きながら通信制の横浜平沼高校を卒業し、働きながら通信制の慶応大学に入りました。
その後、大手IT企業を創業し、元総理大臣秘書、神奈川県議会議員を経験しました。
弱い人を切り捨てるアベノミクスにより、多くの貧困世帯の子どもが学校に行けず、夢をあきらめさせられてしまいました。だから、どうしても子どもたちのために、すべてをかけて本気で戦います。



民主党公認
中谷一馬



市会から国政へ!

真の地域主権改革、成果ある経済政策を。

改革の実行をヨコハマから!



維新の党公認
とよた 有希
ゆうき

とよた有希
1975年5月7日生
●港北区菊名在住、39才、二児の父。
●東京大学文学部行動文化学(社会学専修)卒業
●株式会社電通に12年間勤務(経営修士(MBA))
●2011年統一地方選挙にて、民間主導のMBAを
行政改革を訴え、選挙区トップとなる18712票
を得て横浜市議会議員に就任。
●維新の党 横浜の未来を結ぶ会 政調会長
●維新の党 衆議院神奈川7区支部長

地域・現場を重視した課題解決を国政で!
私たちが応援しています
国会
小野次郎 参議院議員
川田龍平 参議院議員
柴田巧 参議院議員
真山勇一 参議院議員
とよた有希 検索
<http://www.yukiss.jp/>

- 1 景気最優先、成長戦略を加速。**
●旧態依然とした経済政策が行き詰まり、実質経済が低迷する中、消費増税の凍結は当然行うべき。
●金融政策だけを頼みにするのではなく、構造改革、生産性強化、新規参入等による競争力向上に投資。
●経済の担い手である中間層が力を最大限に発揮できる環境整備、消費の向上により経済を底上げ。
- 2 増税の前にやるべきことがある。**
●国会議員の定数削減は実行せず、一票の格差の是正も十分など、国民との約束無視は許されない。
●政府によるムダ削減は全く不十分。守るべき財政規律を明確化し、歳出膨張は止めなければならない。
●消費税は公共事業のパラマキではなく、真に社会保障(年金、医療、子育て)の財源に。
- 3 地方創生は地域の力で。**
●国による一律での補助金や、地域商品券などのパラマキは、将来に大きなツケをまわし、地域の活力をも奪う。
●市民に最も身近な「地域×三ゲン(権限、財源、人間)を移譲効果的な地域活性化のための基盤構築。
- 4 将来の原発ゼロ。**
●曖昧な責任所在、核廃棄物処理問題の解決なき原発の再稼働は認められない。
●電力自由化による市場メカニズムで、相対的に高コストな原発依存から脱却。
- 5 働き方の多様化を進め、働く者の立場も守る。**
●同一労働同一賃金等、正規非正規社員の身分的格差を解消し、均等待遇を実現。
●解付付き税額控除の導入、失業保険、職業訓練の充実など、セーフティネットはしっかりと構築する。
- 6 教育改革 未来の人材育成。**
●公立小中学校における学校給食の制度化、学童保育事業の充実に向けた法的整備。
●経済格差を学力格差にしないための教育環境整備、所得控除等の導入による家計支援。

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

頼れる政治家。第三極で次世代が希望を持てる日本を



次世代の党・神奈川7区
松田まなぶ
五十七歳

私たち次世代の党は、「是々非々」で政権に向き合い、「次世代のことまで考える政治」へという軸を政界に産み出した、日本の政治の新しい選択肢です。
次世代の党は、既成政党にはできない、真の改革を推進する力量と仕組みを備えた「第三極」として、以下のことを約束します。

「次世代にツケ回しをしない 賢い国家経営を実現」

現在、国の財政は「穴の開いたバケツ」状態。国民の税金を選挙対策でバラ撒く政治は、公会計改革や財政健全化責任法案でストップさせます。消費増税の前に、「次世代にツケ回しをしない、賢い国家経営」で、納得のいく引き締まった財政運営を実現し、政策を官僚主導から、民意を反映した真の政治主導へと転換します。将来、日本が高齢化しても、その割には税金が安いという意味では世界一の国になります。

「この世代にも公平な社会保障制度の実現」

働けるのに働かない人に税金を投入することはやめ、真面目に努力する人が報われ、真の弱者を守るよう、生活保護法改正案や年金改革法案も用意しています。まだ投票権をもたない子どもたち、孫たちの立場に立ち、若者に希望を生む社会と、高齢者がイキイキと自立できる社会保障の仕組みを構築します。

「領土と主権を守る安全保障体制で 強い国家の実現」

強く誇りある日本に向け、法案や議論で他党をリードしています。
私たちは、実際に国民におカネが回る経済に向けて、「次世代ミックス」を代案としてぶつけ、日銀が将来にツケを残さないニューマネーを実体経済に直接投入する百〜二百兆円規模のスキームを創り、未来を創る大規模投資で新しい長期的な経済成長を実現します。

■略歴

一九五七年生まれ。
横浜市港北区日吉にて生まれ、小・中学校に通学。
東京大学経済学部卒業後、大蔵省入省(西ドイツ留学、洲本税務署長、大阪国税局査察部長、横浜税関総務部長、内閣審議官、財務省本省課長、東京医科歯科大学教授、郵政貯金、簡易生命保険管理理事への出向等)、二〇一〇年、自民財務省を辞して政界に転身。在官中より長編NPO理事、NPO「横浜ひとまわし」研究会理事、シンクタンク研究員、大学客員教授等を歴任。
二〇一二年、第四八回衆議院選挙に出馬し初当選。
現在、次世代の党政策調査会長代理、党税制調査会長、党神奈川県連会長、党衆議院神奈川県第7支部長(港北区、都筑区)。

■主な著書

- ◆『競争も平等も超えて』
- ◆『チャレンジする日本の再設計図』(財経新報社)
- ◆『永久国債の研究』(共著、光文社)
- ◆『TPP 異議論』(KKLオンライン)
- ◆『ニッポン異議論』(KKLオンライン)
- ◆『新著「国力増強論」』(創芸社を8月刊行)

ホームページ <http://matsudamanabu.jp/>
ブログ <http://ameblo.jp/matsuda-manabu/>
フェイスブック <http://www.facebook.com/manabu.matsuda>



次世代の党

私たちも推薦します

- 党最高顧問 石原 慎太郎
- 党首 平沼 赳夫
- 副党首 松沢 しげふみ

比例代表は「次世代の党」とお書きください。

消費税10%先送りではなく、きっぱり中止を

安倍政権と対決
日本共産党への
ご支持を



日本共産党
おやまなこ
大山奈々子

沖縄県知事選では、党派を越えた共同で、アメリカがいかりのこの国のあり方に、「ノー」が突きつけられました。財界いいなりの消費増税も国民の声が押しとどめています。国民を苦しめる政治とたたかい、暮らしのいのちを守る日本共産党が待たれています。
憲法の精神を生かせば、子育ても勉強も仕事も老後も喜びに満ちたものになるはず。誰もが大事にされる、世界に誇れる日本にするために、希望の議席を必ず獲得させて下さい。

消費税に 2つの改革

- 1 富裕層や大企業への応分の負担を求める税制改革。
 - 2 大企業の内部留保285兆円の一部を活用し所得を増やす経済改革。
- この「2つの改革」をすすめる、社会保障の財源確保と財政再建をはかります。

暮らし第一で 経済を立て直す 3つの提案

- 1 人間らしく働ける雇用のルールをつくる
- 2 社会保障切り捨てから充実へ
- 3 TPPからの撤退、日本の農業の再生、中小企業の振興

「海外で戦争する国づくり」やめ 憲法9条を生かした平和外交を

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回を求め、憲法9条を生かした外交で、紛争を話し合いで解決する北東アジアの平和の枠組みをつくります。国民の目・耳・口をふさぎ、戦争に動員する特定秘密保護法は撤廃させます。

再稼働ストップ 「原発ゼロの日本へ」

福島第一原発事故で、原発と人類は共存できないことが明らかになりました。1年以上も原発ゼロで乗り切りました。原発に頼らず、再生可能エネルギーへ転換します。

金権政治ノ一、政党助成金廃止
「カネ」で政治をゆがめる自民党か、国民の声で政治を動かす日本共産党か、自共対決は鮮明。共産党以外が受けている企業・団体献金禁止、政党助成金廃止で、国民の声が生きる政治をつくります。

国民を裏切る政治から、国民の声が生きる政治を

選挙は **日本共産党** とお書きください

党7区 国政対策委員長
略歴 京都市生まれ。早稲田大学教育学部国語国文学科卒。京都府立久御山高校教員、東京で日本語学校の教師。現在、党県委員、新日本婦人の会港北支部常任委員。家族は夫と高校生・中学生の4人家族。趣味はサッカーと読書。
大山奈々子 検索 <http://nanako.jcpweb.jp/>

投票日 12月14日(日) 投票時間 午前7時から午後8時まで

- ◎衆議院小選挙区選出議員選挙
投票用紙(ピンク色)には、候補者1人の氏名を記入します。
- ◎衆議院比例代表選出議員選挙
投票用紙(うぐいす色)には、名簿届出政党等の名称を1つ記入します。
- ◎最高裁判所裁判官国民審査
投票用紙(白色)には、やめさせた方がよいと思う裁判官については、氏名の上の欄に×を書きます。やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないでください。

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。